

空き家でつながる地域の絆

～DIY から始まる再生事業で地域活性化～

【指宿市開聞川尻】

【4年間の活動実績】
 空き家の清掃活動 23件
 " 橋渡し件数 21件
 ★移住者数 55人
 ★契約成立率 91.3%

ステップ①

【雨漏り空き家の清掃活動】



一見、なんの問題も無さそうな物件だが、雨漏りがあり2部屋の畳が腐食して居住として活用は困難な状態。(しかしながら…) 間取りは昔ながらの田の字型。梁や建具も立派で趣があり、水回りの状態は良好だったため、どうにか活用できないかとの想いで清掃活動を行った。



（「できる人が!できる時に!できる事を!」を合言葉に清掃活動を行っています）

ステップ②

【雨漏り原因調査⇒特定⇒対応】

1年前に、プロジェクトの橋渡しで移住した方が瓦屋に務めていたため、協力をもらい雨漏りの原因調査を行う。(すると…) 素人では分からないほどのヒビの入った瓦が原因であると判明する。又、たまたまストックがあった瓦を取り替えると雨漏りを止めることに成功する。



（瓦の取替え作業）



（ヒビの入った瓦）

ステップ③

【今後の活用方法を検討】

★所有者様（大阪府在住）の意向は、空き家を地域のために活用する目的であれば、用途は特別こだわらない。⇒家賃は年間1万円（固定資産税程度）。空き家の維持管理費、建物に関する保険は本会が負担することで合意していただく。【賃貸借契約を締結】

ステップ④

【DIYリノベーション講座を通しての空き家再生事業スタート】

※専門家を講師に招いての技術習得
 ※空き家活用を考える者同士の意見交換の場

ステップ⑤

【川尻元気館(仮称)試験運用スタート】

- ★地域コミュニティの拠点として効果的運用を行う。
 - ・子どもから高齢者が集い交流する場
 - ・移住者と地域住民が集い交流する場
 - ★簡易民泊、研修会場、ワーケーションとして活用できるように環境整備を行う。
 - ★イベント(子ども食堂・サロン・学習支援)として活用
- ◎試験運用する中で、その効果を検証し改善を図りながら、より地域の実態にあった拠点となるように努めて事業展開を継続する。(PDCA サイクル)

●財源⇒地域一丸となって活動を支援[1世帯300円/年](任意)

【第4回講座(床の張替え第2弾)】



（専門工具を使用してのDIY）



（張替えDIY完成）

【第3回講座(雨戸修繕)】



（錆びた戸車の取替え作業を実施）

【第2回講座(障子張替え)】



（10枚の障子張替えを実施）

【第1回講座(床の張替え)】



（新しい出会い・仲間が増えました）



講座チラシ



（4畳半、2部屋の張替えに挑戦）